

アカシア便り

第 6 号

平成 19 年 12 月 20 日

安達 嘉也

安達真希子 作成

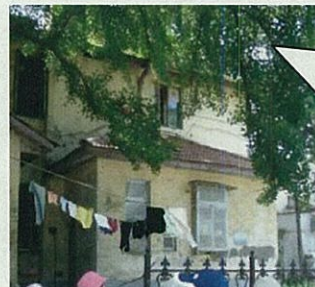
学習発表会 一人一人が主役だよ みんなの心に届けよう 最高の笑顔 最高の輝きを

早いものでもう 12 月、もうすぐ今年も終わりますね。12 月に入って、ここ大連の寒さはきびしくなり、最近の最低気温はだいたい -5 度くらいです。しかし鳥取のように雪が積もることはなく、寒さの種類が違うような気がします。

さて、大連日本人学校では、学習発表会が 11 月に開催されました。今回は 4 年生安達学級の発表を簡単に紹介します。4 年生のテーマは、「大連・日本につたわる願い～のこしたいもの・伝えたいもの～」です。総合学習で取り組んだ大連と日本とのつながりの調べ学習を発表しました。学習したことをもとに、自作の曲も作り披露しました。その昔日本と中国が戦争していたとき、多くの日本人が大連に移り住み、そこからたくさんのつながりが生まれました。少しですが、そのつながりを写真で紹介します。



中山広場には日本が大連を統治していた時代の建物が残っています。これは、当時「ヤマトホテル」と呼ばれたホテルで、今もホテルとして活躍しています。



ここは当時日本人が住んでいた高級住宅街で、今では中国人が大切に住んでくれています。

大連には切り子工場があります。ガラスの原材料が豊富な大連に、切り子の技術が日本から伝えられ、今では世界各国に出荷されています。



日本の先端の技術も大連で生かされています。松下の工場は、中国の副主席からのお願いによって日本からやってきました。



小さな力を集めて
大きな力にしていこう

つなげよう 文化
つなげよう 日中友好

さあ

日本の伝統 一緒に
大連の伝統 一緒に
切り子工場
みんなで協力してできた

深めよう 文化
深めよう 日中友好

日本のよさ
大連のよさ 合わせて
中山広場 日本人街に
日本人がつくった建て物
さあ

作曲 大川 直子

大連・日本につたわる願い
のこしたいもの・
伝えたいもの

四年生自作の歌

作詞 大連日本人学校
四年生



アカシア便り

第 7 号

平成20年 1月 25日

安達 嘉也

安達真希子 作成

明けましておめでとうございます。

鳥取県のみなさん、明けましておめでとうございます。今年は中国にとって、とても重要な北京オリンピックの年です。ここ大連でも北京オリンピックのキャラクターがあらゆる所に出回っています。しかし、中国のお正月は旧暦であるため、新年のお祝いは2月にするようです。今年の場合は、2月6日が大晦日、7日が元旦です。このお正月はとてとてにぎやかで、日本のお正月より盛大にお祝いするようです。花火、爆竹など、今からワクワクしています。中国のお正月については、来月号で詳しく紹介しようと思います。

さて、大連日本人学校では、1月11日に、新年書き初め大会が行われました。小、中学生が講堂に集い、一斉に条幅紙に向かいます。書き終わると学年ごとにステージに上がり、自分の作品を紹介しました。



【最近の大連】

1月中旬から大連の寒さも増してきました。大連は雪がほとんど降らず、積もることもめったにありません。自動車は冬も普通タイヤが多いです。ですから、1月9日に積雪があった時には日本人学校の前の急な坂を車が上れず、休校になってしまいました。それ以来雪は降りませんが、毎日が最高気温-7度、最低気温-12度くらいの気温なので、とっても寒いです。みなさん、想像がつかますか？

~今月の中国語~

第3回目は、謝るときの言葉です。前回のお礼の言葉と同じくこれもよく使います。中国の人は、少しのことにこだわらないおおらかな人が多く、謝るとすぐに「大丈夫ですよ」と答えてくれます。

ごめんなさい→「对不起」^{ドゥイフウチイ} 申し訳ありません→「不好意思」^{ブハオイイス}

気にしないで→「没关系」^{メイグアンシイ} 大丈夫ですよ→「没事」^{メイシ}



アカシア便り

第 8 号

平成20年2月15日

安達 嘉也

安達真希子 作成

春节快乐！！（春節おめでとう！）

2月7日、いよいよ待ちに待った中国でのお正月、春節を迎えました。6日の大晦日の朝にはすでに街のあちこちで爆竹や花火の音が鳴り響いていました。年越し間近の夜11時になるとその音はあっという間に激しくなり、外を見てみると道路では爆竹、そして空では花火の嵐です。動画で実際の様子を紹介できないのが残念ですが、どこを見ても花火という光景はまさに絶景でした。



中国は、春節が近付くとどんどん赤が多くなっていきます。街には、大きな赤のねずみや、真っ赤なちょうちんでできたアーケードが出現しました。また、市内の公園には、今年の干支であるねずみ（ミッキー？）と今年のオリンピックキャラクターが一緒になった大きなモニュメントが飾られていました。デパートではもちろん真っ赤なお正月飾りや真っ赤な下着が売られています。中国ではなぜこんなにも赤にこだわるのでしょうか。春節の由来について調べてみました。

春節の由来

春節について伝わるお話はいろいろとあるようですが、有名なものを紹介します。昔、「年」というおそろしい猛獣がいて、大晦日になると人を食べようとおそってきたそうです。そこで、人々はその「年」を退治するために赤い服を着て家の前で爆竹を鳴らし、花火を上げました。すると、「年」は驚いて逃げ出しました。そのことから、年を越すことを、「过年(グォニエン)」と言うようになったようです。「过」は、日本語の「過」という字ですので、つまり、「年が過ぎていく」ということです。

ちなみに、年越しには餃子を食べるのが中国流です。餃子を包む時に中にコインを1枚入れておき、それを見つけた人はその年の金運がよくなると言われています。



～今月の中国語～

第4回目は、お別れのあいさつです。若者は、日本と同じように「バイバイ」と言い合うこともあります。でも書くときは、もちろん漢字です。

さようなら→「^{ザイゼン}再見」

また明日→「^{ミンティエンゼン}明天见」

バイバイ→「^{バイバイ}拜拜」